

## 研究・調査報告書

| 分類番号  | 報告書番号  | 担当                  |
|---|--------|---------------------|
| A-136   | 13-125 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 |
| <b>題名 (原題/訳)</b>  |        |                     |
| Dietary and lifestyle characteristics associated with normal-weight obesity: the National FINRISK 2007 Study.<br>標準体重肥満に関連する食事および生活習慣の特徴： the National FINRISK 2007 Study   |        |                     |
| <b>執筆者</b>  |        |                     |
| Männistö S, Harald K, Kontto J, Lahti-Koski M, Kaartinen NE, Saarni SE, Kanerva N, Jousilahti P   |        |                     |
| <b>掲載誌</b>  |        |                     |
| Br J Nutr. 2014 Mar 14;111(5):887-94. doi: 10.1017/S0007114513002742.   |        |                     |
| <b>キーワード</b>  |        | <b>PMID</b>         |
| 食事、生活習慣、肥満、運動、調査  |        | 24229475            |
| <b>要 旨</b>  |        |                     |
| <p><b>目的：</b><br/>                     フィンランド人について痩せや肥満と新たな概念である正常体重肥満症候群 (NWO) との、生活習慣 (余暇の運動、喫煙、飲酒) と栄養 (高カロリー食、食物繊維、食品群) の要素について比較する。</p> <p><b>方法：</b><br/>                     代表的な住民ベースで健康診断と質問紙を用いた National FINRISK 2007 Study の 4,786 名 (25-74 歳) の参加者を対象として研究を行った。食物摂取は妥当性を確認済みの食物摂取頻度調査によって評価した。NWO は WHO の定義に従って、正常 BMI(25 kg/m<sup>2</sup> 未満) で過剰体脂肪 (男性 20%以上、女性 30%以上) と定義した。</p> <p><b>結果：</b><br/>                     参加者のうち正常 BMI の割合は、男性で 28%、女性で 42%であった。正常 BMI の者のうち、男性の 34%、女性の 45%が NWO であった(全体では男性 10%、女性 19%であった)。NWO と判定された参加者の腹囲はやせ形と過体重の間であった。運動不足、喫煙/過去喫煙、飲酒のような潜在的な危険因子は NWO との関連が見られた。高カロリー食と NWO との関連性は見られなかった。さらに一部の健康的な食事内容 (肉や清涼飲料などの低摂取) 同様に非健康的な食事 (根菜類、穀物、魚の低摂取、菓子類の多量摂取) が NWO と関連していた。これらのことから NWO の参加者は正常体重であるが体脂肪が高いかについて説明することができるだろう。</p> <p><b>結論：</b><br/>                     NWO の割合は高く、見た目がやせ形だが肥満や健康に影響する不健康な食生活習慣を有するため、NWO を判定することは重要である。</p> |        |                     |